



MS345-18002・MS345-18003 カラードフロントフェンダーフィン

取付・取扱要領書

この度は86用カラードフロントフェンダーフィンをお買い上げ頂き誠に有難うございます。
本書は上記カラードフロントフェンダーフィンの取付け、取扱いについての要領と注意を記載してあります。
取付け前に必ずお読み頂き、正しい取付け、取扱いをお願いいたします。
なお、本書は必ずお客様にお渡しください。

本商品は未登録車への取付けは出来ません、取付けは車両登録後に行ってください。

品番・適合一覧表

品番	塗装色	備考
MS345-18002-A0	サテンホワイトパール(37J)	86全車 '12.04~
MS345-18002-C0	クリスタルブラックシリカ(D4S)	
MS345-18002-D0	ライトニングレッド(C7P)	
MS345-18002-A1	クリスタルホワイトパール(K1X)	
MS345-18002-B2	アイスシルバーメタリック(G1U)	
MS345-18002-D1	ピュアレッド(M7Y)	
MS345-18002-E0	オレンジメタリック(H8R)	
MS345-18003-NP	未塗装品	

・最新の適合情報はTRDカタログサイトをご覧ください。 <http://www.trdparts.jp/>




構成部品一覧表

	品名	品番	個数	備考
	カラードフロントフェンダーフィンRH		1	
	カラードフロントフェンダーフィンLH		1	
	取付・取扱要領書		1	本書



取付・取扱上の注意

この取付・取扱要領書では安全にご使用いただく為に、特にお守り頂きたいことなどを、次のマークで表示しています。

 警告	この内容に従わず、誤った取付け、取扱いを行うと、人が死亡したり、重傷等を負う可能性がある内容について書かれています。
 注意	この内容に従わず、誤った取付け、取扱いを行うと、人が障害を負ったり、製品等の物的損害に結びつく可能性がある内容について書かれています。
 アドバイス	スピーディーに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

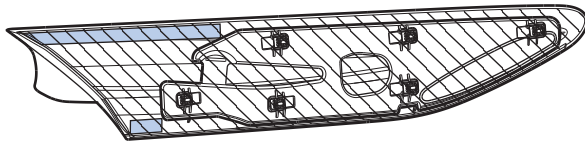
確認 本商品が到着後、すぐに本体に破損が無いこと、付属品が全て揃っていることを確認してください。

-  **警告** 取付作業は、必ず平坦な場所でエンジンを切り、サイドブレーキがかかっていることを確認後行ってください。不安定な場所で作業、車両が動く状態での作業は重大な事故原因となります。
-  **警告** エンジンルームやマフラー等の付近で作業を行う場合、ヤケド等の重大な怪我に注意してください。
-  **警告** 本商品への改造・加工、適合車種以外への装着は絶対に行わないでください。破損や事故の原因となります。
-  **警告** 取付けの際は、指定トルクに従って各ボルト類を充分に締め付けてください。取付け時に緩みがあると徐々に緩みが大きくなり、脱落等により重大な事故、故障の原因となります。
-  **警告** 取付け後、本商品と他の部品とが干渉していないかを確認してください。干渉している場合は、本商品を購入した販売店にご相談ください。そのまま走行すると破損や故障の原因となります。
-  **警告** 本商品装着後に、衝突等の強い衝撃を受けた場合、取付部分や本体に変形や破損、故障を生じる場合がありますので、ご使用を止め、修理工場にて点検を受けて下さい。
-  **警告** 走行中に異常な振動や異音等を感じたら直ちに安全な場所に停車し、整備工場にて点検を受けてください。そのまま走行を続けると、車両の破損や事故の原因となります。
-  **警告** 本商品は舗装路での走行を想定して設計されています。悪路や雪道での走行は、商品によっては破損の原因になりますのでお止めください。
-  **警告** 本商品には十分な強度・耐久性を持たせてありますが、保管条件や取扱条件、走行条件によっては破損、故障が起こる可能性があります。保管、取付作業、ご使用に際しては十分にご注意ください。
-  **注意** 本商品の交換・取付作業は必ず専門の整備工場で実施してください。
-  **注意** 本商品の取付の際は必ず該当車両の修理書（トヨタ自動車㈱発行）に従い、本書の注意事項を守って作業を行ってください。
-  **注意** 本商品は各構造基準に適合しているため、車検時も通常の検査と同様に受けられます。ただし適合車種以外に装着した場合、またはその他の部位を改造しているなどの使用状況によっては、その限りではありません。
-  **注意** 未塗装品セット (MS345-18003-NP) は未塗装の為、車両の外板色に合わせた塗装が必要になります。強制乾燥させる場合は製品が変形しないように固定し、70 以下で乾燥させてください。
-  **注意** 未塗装品を塗装前に脱脂する場合、IPA又はホワイトガソリンを使用し、シリコンオフ及びシンナーは使用しないでください。
-  **注意** 本書で指示した以外の車両部品を取り外さないでください。
-  **注意** 車両部品の取外しに際し、クリップ等の紛失や混入が無いように、部品毎に整理し、復元する際、間違えないよう配慮してください。
-  **注意** 車両部品の脱着および車両へのフロントフェンダーフィンの取付け時の傷付き防止のため、作業前に保護シートを準備し、取付け作業は必ず保護シートの上で行ってください。
また、取付け作業時には車両部品に傷を付けないように十分に注意してください。
-  **注意** お手入れの際には、シンナー、ガソリン等の有機溶剤は使用しないでください。変色・変形の原因となります。
-  **注意** 取付作業や走行により、車両本体、または本商品が損傷した場合のクレームには応じかねます。
上記の事項と本書の装着要領を必ずお守りください。

未塗装品の取扱いについて

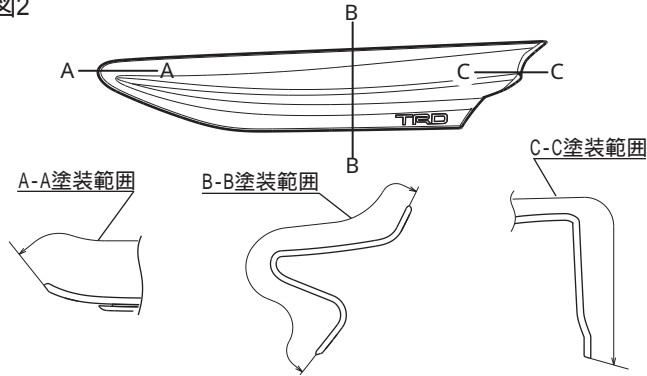
下記は、未塗装品(MS345-18003-NP)の塗装前、塗装後の作業を記載しています。下記要領に従い作業を行ってください。

図1



マスキング範囲

図2



A-A塗装範囲

B-B塗装範囲

C-C塗装範囲

フロントフェンダーフィンの塗装

1. 図1のようにフロントフェンダーフィンのクリップ位置と両面テープ部をマスキングテープ等でマスキングする。(斜線部)

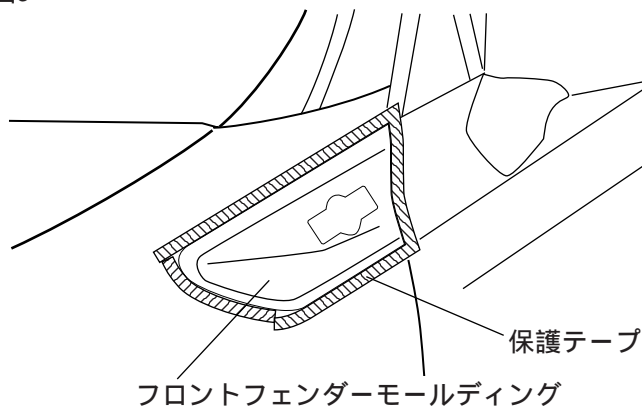
2. 図2のようにフロントフェンダーフィンを塗装する。

△注意

- ・乾燥温度を70以上に上げますと、製品に変形や割れが発生しますので、乾燥温度には十分注意してください。強制乾燥させる場合は、製品が変形しないように固定してください。

取付要領

図3



保護テープ

フロントフェンダーモールディング

1. フロントフェンダーモールディングLH取外し。

(1) 図3のようにフロントフェンダーモールディングの外周に保護テープを貼り付ける。

△注意

- ・アルミテープ、ガムテープ等で養生して下さい。車両の傷付き防止の為、紙テープの使用はお止めください。
- ・保護テープはフロントフェンダーモールディングの取付け隙間に入り込む位まで貼ってください。

(2) 赤外線ランプ、ヒートガン等を使用しフェンダーモールを暖める。(30~40で3~5分)

△注意

- ・暖めたボディや赤外線ランプ、ヒートガンでの熱による火傷に気をつけてください。

(3) ピアノ線をマイティープラーにセットし、図4のように交互に引いて矢印先の両面テープ接着部分を切断する。

△注意

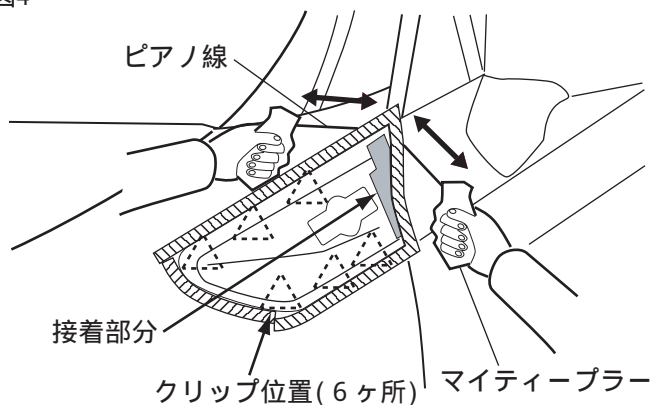
- ・ピアノ線がボディに接触しますと保護テープ越しに塗装面を傷付ける場合がある為、十分に注意してください。

(4) 図4に示したクリップ位置6カ所をモールディングリムーバーを用いて外し、フロントフェンダーモールディングを車両から取外す。

△注意

- ・モールディングリムーバー使用時、梃子作用の支点部に凹み、塗面欠けを起こさないように十分注意してください。

図4



ピアノ線

接着部分

クリップ位置(6ヶ所)

マイティープラー

図5

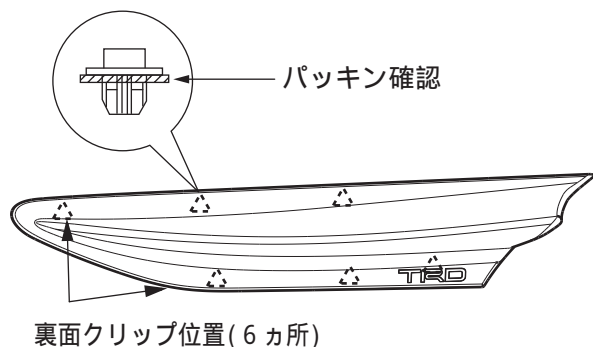


図6

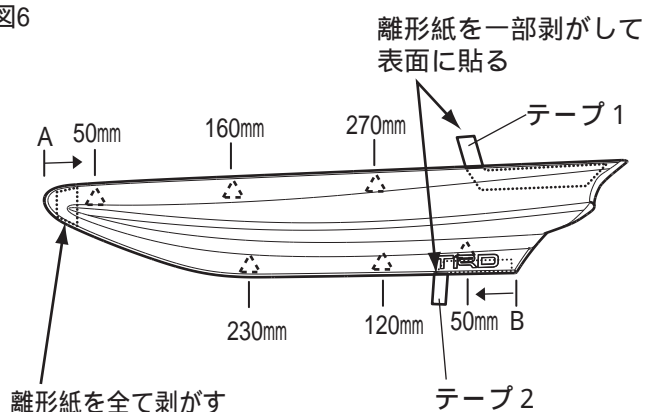


図7



2. TRDフロントフェンダーフィンの取付け。

(1) フェンダー側に残った両面テープをきれいに除去する。

△注意

- 両面テープが車両パネルに残ったままで取付けますと密着不良、クリップの吻合不足等により、浮き、外れの原因となりますので完全に除去してください。

(2) 両面テープの接着部を白ガス又はIPAにて脱脂する。

△注意

- 脱脂にパーツクリーナーは使用しないでください。油分が残り剥がれの原因となります。

(3) フロントフェンダーフィンのクリップ6カ所にパッキンが付いている事を確認する。(図5参照)

(4) 図6のようにフロントフェンダーフィン裏面の両面テープの離形紙を前側は全て剥がし、後側の上下の両面テープ離形紙は20mm程剥がし表面に貼り付ける。

(5) 赤外線ランプ、ヒートガン等で、テープ面を20～30℃、フェンダー側を40～60℃に暖める。

(6) 図7のようにフロントフェンダーフィンのクリップ6カ所をフェンダー穴に合わせ押し込み、吻合させた後に、上側のスキが一定になるように位置を調整し図6のテープ1の離形紙を抜取る。続いてテープ2の離形紙を抜取る。

(7) すべての両面テープ部を圧着する。(50N/cm)

👉 アドバイス

- 図6に前端A部、後端B部からのクリップ位置を示してありますのでクリップ部を確実に押し込んでください。

△注意

- クリップが完全に吻合しているか、前側4カ所はエンジンルーム側から、後側2カ所はドアを解放した後方より確認してください。

3. RH側も同様に交換する。

△注意

- 取付後(接着後)24時間は洗車等で、水が掛かる事の無いように注意してください。

取付完了後の点検・注意事項

- フロントフェンダーフィン取付廻りに傷を付けていないか点検する。
- フロントフェンダーフィンに浮き、剥がれが無い事を確認する。